

「ハンセン病問題を正しく理解する週間」

無知は差別のはじまり、まずは正しく知ることです！

■ 6月22日(木)は、 「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」です

Q1. ハンセン病ってどんな病気なの？ 原因は何？

ハンセン病は、「らい菌」による感染症の一種です。診断や治療が遅れると、主に運動障がいや顔、指、手、足などに変形をきたすことがありました(後遺症)。

Q2. らい病？ ハンセン病？ どちらなの？

現在では「ハンセン病」と呼びます。ハンセン病は以前、「らい病」「らい」などと呼ばれていましたが、差別用語のため「ハンセン病」と改称されました。

Q3. ハンセン病って感染するの？

らい菌は感染力が非常に弱く、昔のように衛生環境・栄養状態の悪い時代には発病したりしていましたが、現代の生活環境で発病するのは稀です。これまで、全国の療養所で働いている人でハンセン病になった人は一人も確認されていません。感染力の弱さから遺伝ではないかと思われた時代もありましたが遺伝病ではありません。

Q4. 治る病気なの？

ハンセン病は治る病気です。現在は治療薬が開発され適切な治療を受ければ後遺症を残さず確実に治る病気で、療養所で生活している人たちは治癒しています。仮に発症しても、有効な治療などがあるため皮膚科に通院することで完治するようになりました。

■ 国立療養所 星塚敬愛園を見学してみませんか

星塚敬愛園は、昭和10年10月に全国で10番目に設立されたハンセン病療養所です。星塚敬愛園の「星塚」とは当地が「星塚っ原」と呼ばれていたことから、「敬愛」は西郷隆盛の「敬天愛人」から引用されたものといわれ、現在69名の方が入所されています。

園内にある社会交流会館内の資料展示室では、星塚敬愛園の歴史パネルや入所者の方々の生活用品など、150点余りの資料が展示され学芸員が案内をします。本館での見学を通して、療養所生活を余儀なくされた方々が懸命に生きてこられた証を心に刻んでいただき、ハンセン病に対する偏見や差別のない社会を実現しましょう。

・・・ハンセン病問題啓発パネル展・・・

期 間 令和5年6月19日(月)～23日(金)

場 所 大崎町役場1階ロビー